

のぞいてみよう！

能勢町のお財布事情



令和7年度決算
能勢町 総務部 理財課



もくじ

はじめに ～「財政」ってなんだろう？～ 2

① 令和7年度の決算はどうなっているの？

歳入を見てみよう・分析してみよう！	4～5
歳出を見てみよう！（目的別・性質別）	6～7
どんな事業にお金を使ったの？	8
過去と比べてみると？	9
その他の会計を見てみよう！	10

② 他のまちと比べてみると？

住民一人当たり直してみると	12
貯金はどれくらいあるの？（基金残高）	13～14
借金はどれくらいあるの？（地方債残高）	15
自由に使えるお金の割合はどれくらい？（経常収支比率）	16
借金は返済していけるの？（実質公債費比率）	17
将来の負担になる借金の割合は？（将来負担比率）	18
これからどうなっていくの？（財政収支見通し）	19

③ 能勢町の課題ってなに？

①人口減少	21
②交通対策	22

④ 持続可能な行財政運営を目指して！

持続可能なまちづくりを実現しよう！	24
-------------------------	----

むすびに ～住民のみなさまへ～ 25



/セシロ & /セクロ

能勢町の特産品「三白三黒」にちなんだ
ノセシロ & ノセクロが
能勢町PRキャラクターとしてデビュー！

いろんな形に変化できる柔軟な外見。
見た目は可愛いですが
声は渋めのイケボなんです。

「ナイっす」が口癖だそうです。

ぜひ応援してくださいね♪

はじめに ～「財政」ってなんだろう？～



財政って、なんのことか
よくわかんないっす……。

能勢町では、道路やごみ、福祉、教育など
みなさんの暮らしに必要なサービスを行うために
たくさんのお金を使っています。
そのお金をどこから集めて、何に使うのか考え
やりくりすることを「財政」といいます。

「能勢町のお財布事情」を知ることは
町のお金がどこから来て
何に使われているのかを知ることです。
町の今を知るきっかけとして
能勢町の財政を分かりやすく紹介します。

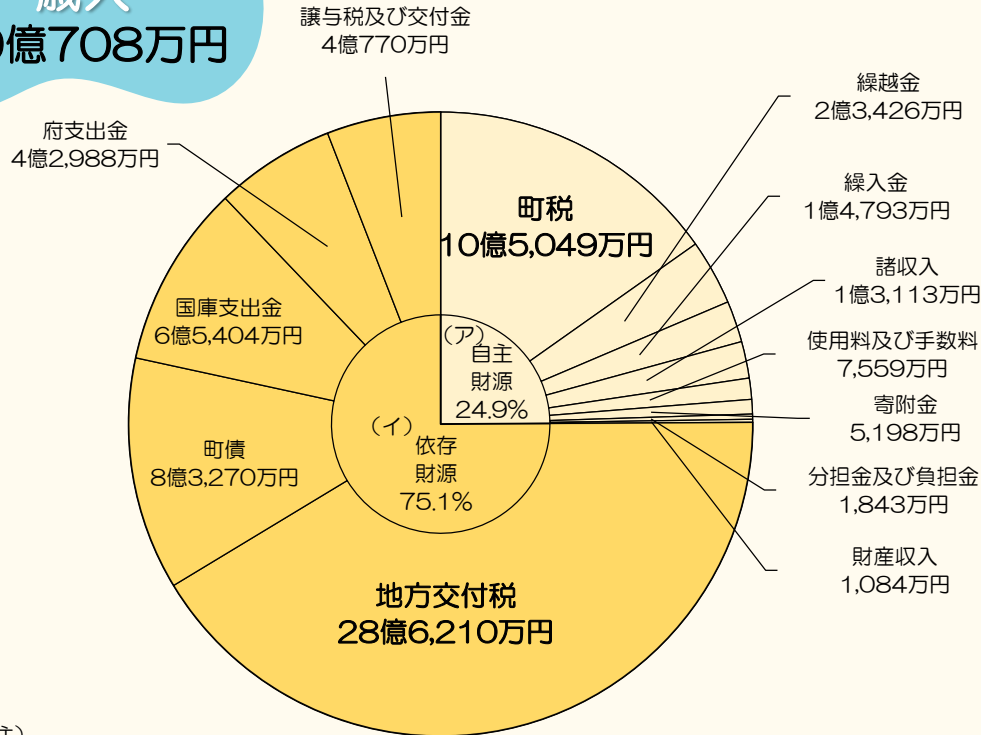
町のお金のこと、
知らないままじゃ
もったいないっす！

①令和7年度の決算は どうなっているの？



歳入を見てみよう！

歳入
69億708万円



(注)
各費目ごとに四捨五入により算出しているため
円グラフ合計額と総額に違いが生じることがあります。

歳入（1年間の収入）は、グラフにあるとおり、様々な種類の収入によって成り立っています。

収入は、（ア）自主財源と（イ）依存財源に分けられます。自主財源が多いほど、自主的で安定した行政活動ができることになります。本町の自主財源は、歳入全体の約1/4を占めています。残りの約3/4は依存財源です。

令和7年度の歳入は、前年度よりも約3,944万円（0.6%）増加しています。地方交付税が増加したことや、し尿処理施設改造整備や旧田尻小学校校舎解体のために町債を発行したこと等によるものです。

自主財源が多いと、町で自由に使える
お金も増えるんじゃないですか？

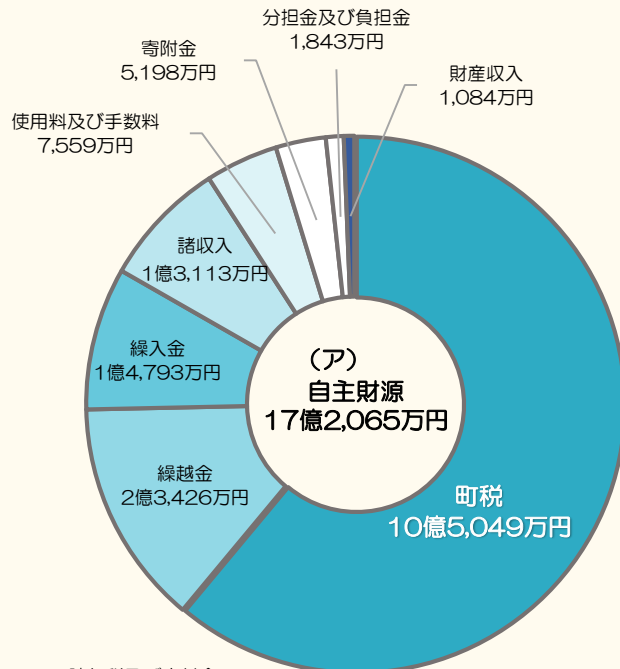
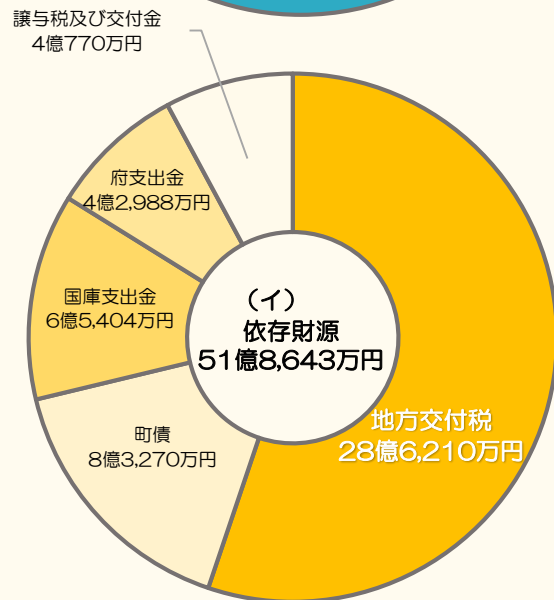
用語説明

- 町 債…………… 施設整備や災害復旧をするときに、財源を確保するために借り入れるお金
- 繰入金…………… 経済情勢の悪化や緊急時、計画的な事業の実施時において、事前に積み立てている基金を充てるお金
- 地方交付税…………… 地方自治体ごとの税収格差を是正するため、国から配分されるお金
- 自主財源…………… 町税や使用料、手数料、寄附金など、町が自主的に収入できるお金
- 依存財源…………… 国や府から決められた額を交付されるお金

ほんなら、
一年間の出費も
気になるやないっすか～

歳入って、町に入ってくるお金のことで、
家計でいうと、年収みたいなもんっすね

歳入を分析してみよう！



(ア) 自主財源 … P 4 「用語説明参照」

自主財源の約61%を町税が占めています。しかし、人口の減少に伴い、町税は減少する傾向にあります。令和7年度の町税は、定額減税の終了により前年度から2,761万円（2.7%）増加していますが、今後も町税が減っていくことが予想されます。そのため、人口を増やす取組や企業の誘致など、町の収入を増やす取組も必要です。

繰入金と繰越金をあわせた3億8,219万円は、これまで積み立ててきたお金や、前年度から繰り越したお金です。

令和7年度は、繰入金が前年度に比べて3億1,609万円減少したことなどから、自主財源の総額は2億4,549万円減少しました。

自主財源のほとんどは、上記3つの財源（計14億3,268万円、約83%）で成り立っています。そして、繰入金も繰越金も、もとは町税などをやりくりして確保してきたお金です。これからも町のお財布を安定させるには、町税を確保していくことが大切です。

(イ) 依存財源 … P 4 「用語説明参照」

能勢町の歳入の約75%は、国や府などから入ってくる**依存財源**です。その中でも、地方交付税は5割以上を占め、町の財政を支える大切な財源となっています。

町債や国・府からの支出金は、決められた事業に使うためのお金です。そのため、本当に必要な事業かを見極め、効果的に使うことが大切です。

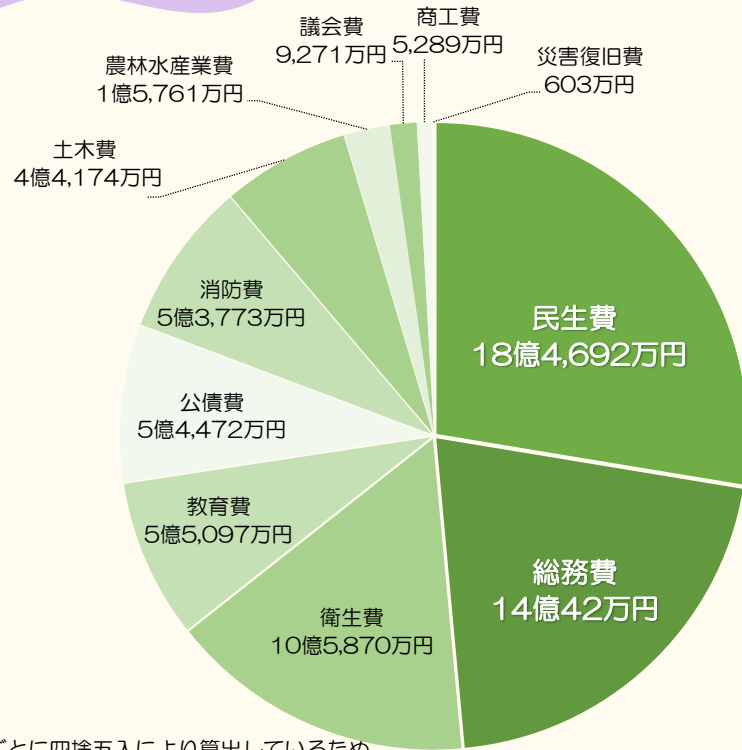
令和7年度は、地方交付税が1億8,185万円、町債が3億9,314万円増加しました。その結果、依存財源全体では2億8,493万円増加しました。

依存財源が多い能勢町では、国や府からのお金を大切に使い、より良い行政サービスにつなげていくことが大切です。

歳出を目的別にみてみよう！

歳出(目的別)

66億9,044万円



(注)
各費目ごとに四捨五入により算出しているため
円グラフ合計額と総額に違いが生じることがあります。

目的別って？

どんな分野にお金を使ったのかを見る方法です。

各行政分野ごとに分類したもので、町役場の各部・課ごとの仕事の比重を知ることができる分類方法と言えます。

町のお金って、何に使われてるのかよくわかんないっすよね

能勢町では？

民生費と総務費で、**歳出の約半分**を占めています。

児童手当や障がい者自立支援事業などの扶助費が組まれた**民生費**が全体の約28%、地域公共交通対策などに関する予算が組まれた**総務費**も約21%と高くなっています。

用語説明

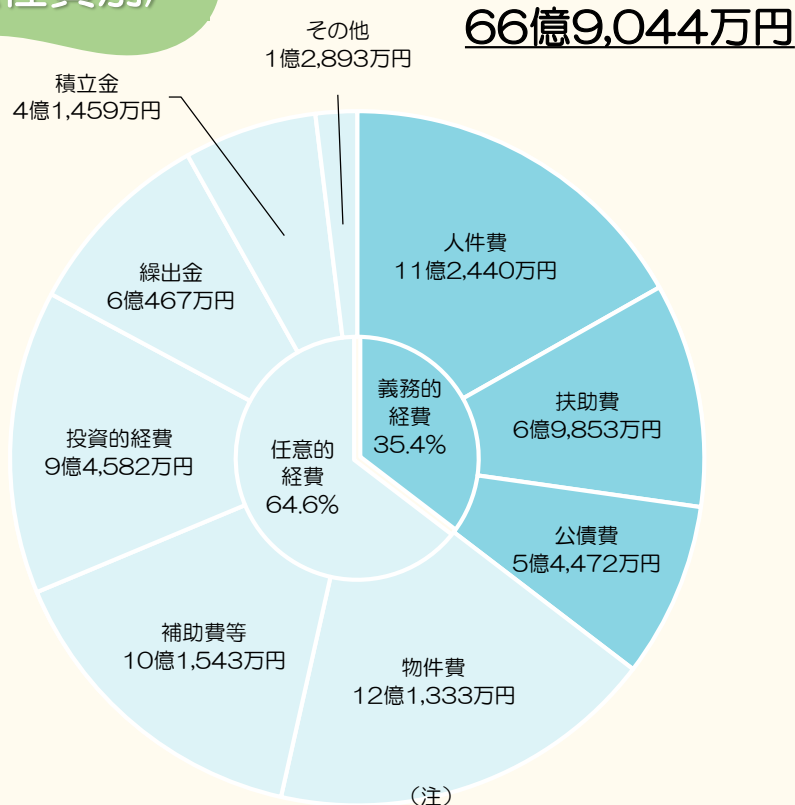
- **総務費** …… 戸籍管理、選挙、交通安全、町税の賦課徴収などにかかるお金
- **民生費** …… 子どもや高齢者、障がい者などの福祉サービスにかかるお金
- **消防費** …… 消防、防災事業などにかかるお金
- **公債費** …… 町の借金を返済するためのお金

みてみると…意外と
いろんなことに使ってる
じゃないっすか！

総務費とか民生費とか、何に
使ったかはわかったけど…
それぞれ、どんなお金なのかも
気になっちゃうっすか？

歳出を性質別にみてみよう！

歳出(性質別)



(注)
各費目ごとに四捨五入により算出しているため
円グラフ合計額と総額に違いが生じる場合があります。

義務的経費が増えると、
自由に使えるお金が減っちゃう…
やりたいことがあっても、
お金が足りないっす！

でも義務的経費って、
簡単には減らせナイっす

性質別って？

性質別とは、町が使うお金を、その使い道や性質によって分類することです。

その中でも、人件費・扶助費・公債費は、**義務的経費**といい、簡単に削減することができないお金です。

一方、道路や橋、公共施設などの整備に使う**投資的経費**や、物件費・補助費などは**任意的経費**といいます。

義務的経費が増えると、任意的経費に使えるお金が減ってしまいます。つまり、自由に使えるお金が少なくなります。

用語説明

- **人件費** …… 職員の給与・退職手当や議員報酬など
- **扶助費** …… 高齢者・障がい者・子どもなどを支援するためのお金
- **補助費等** …… 団体や法人などに対する助成金や負担金など
- **繰出金** …… 一般会計などから特別会計などへ、運営に必要なお金を出すこと
- **物件費** …… 物品の購入や光熱水費、委託料などにかかるお金

どんな事業にお金を使ったの？

学校給食の無償化
・地産地消の取組

2,781万円

子育て世帯の経済的負担軽減を図るために、公費により学校給食費の全額無償化を実施しました。また、地産地消の取組として、地元丸ごと能勢っ子献立を実施しました。



おいしそうで、
栄養バランスもNice！
ナイス



機能をまとめて効率アップ！
たしかにもったいナイスね！



污水处理施設
共同整備事業

3億6,034万円

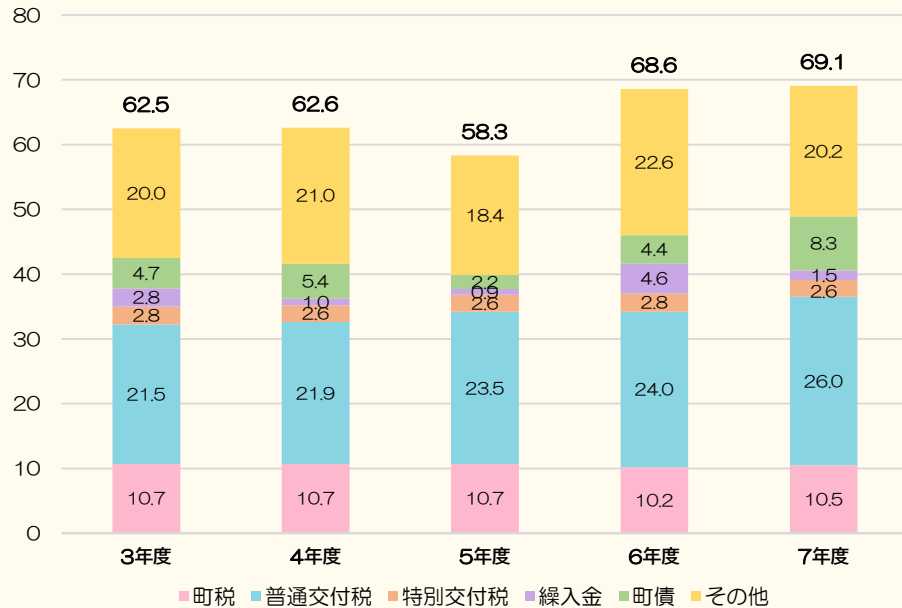
し尿及び浄化槽汚泥の合理的かつ経済的な処理を目的とし、し尿処理施設と浄化センターの一部の機能を統合するため、改造工事を実施しました。



過去と比べてみると？

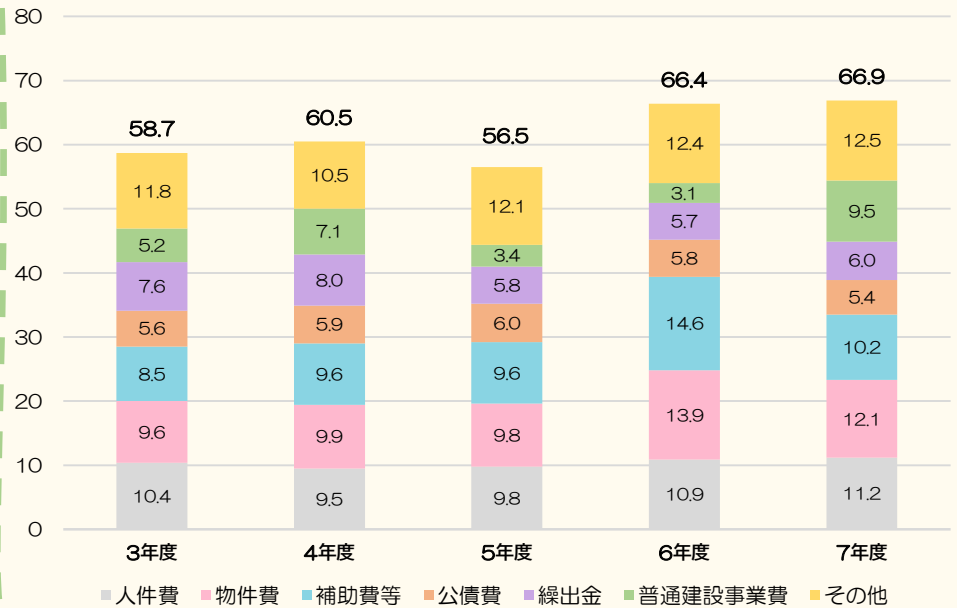
歳入推移

(単位：億円)



歳出（性質別）推移

(単位：億円)



令和7年度は、し尿処理施設の改造工事などのために町債を増やしたことなどから、歳入が増えました。

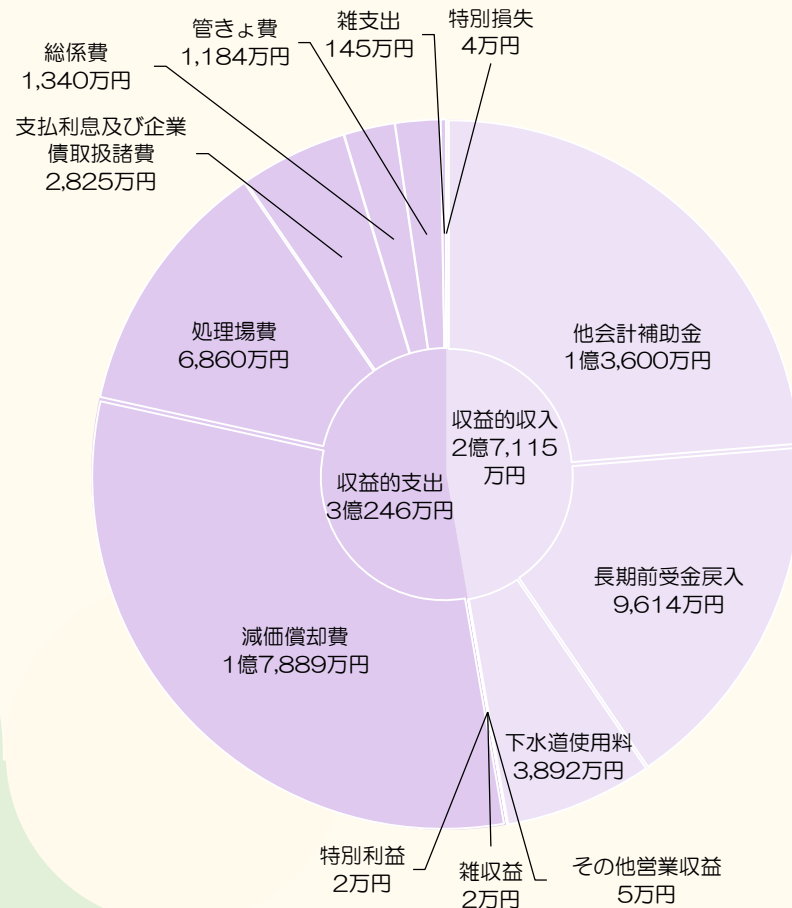
また、定額減税の終了によって町税が増えたほか、普通交付税も増加しました。

これらにより、歳入は前年度より0.6%増えています。

し尿処理施設の改造工事など、施設の整備にかかった**普通建設事業費**が大幅に増えたため、歳出全体では前年より0.9%増加しました。

その他の会計を見てみよう！

下水道事業会計



特定の目的のために、一般会計とは別にお金の出入りを管理する会計を**特別会計**といいます。

能勢町には国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計の4つの特別会計があります。

また下水道事業は**公営企業会計**という仕組みで管理しています。ここでは、下水道事業のお財布事情を見てみましょう。

令和7年度の下水道事業会計は赤字となりました。現在、下水道を維持するためにかかるお金を、下水道使用料だけではまかなえていない状況です。

下水道は、私たちの生活に欠かせない大切なインフラです。これからも安心して使い続けられるよう、効率よく事業を運営していく必要があります。

使った分の料金収入だけでは
施設を維持していくお金が
足りナイっす……

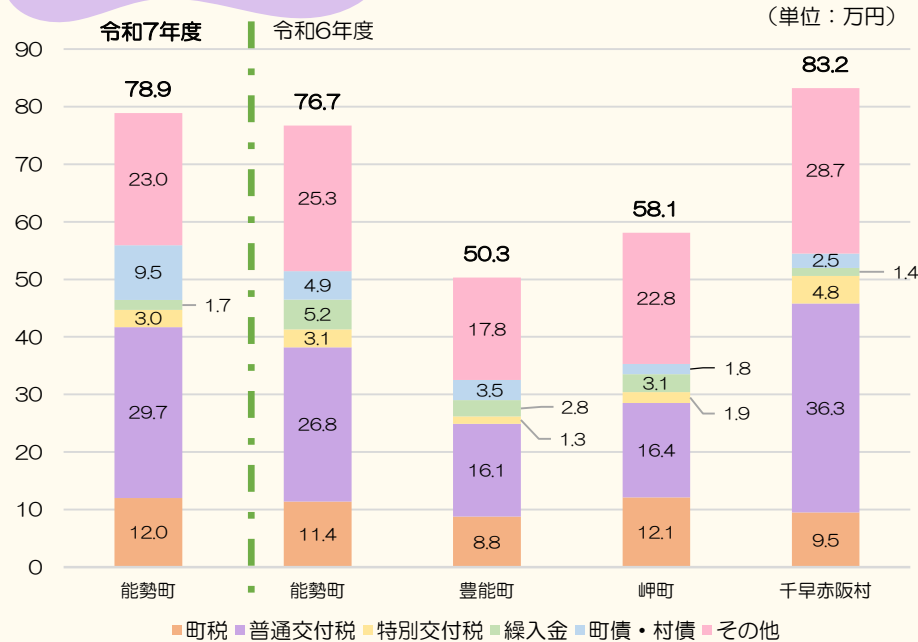


②他のまちと比べてみると？



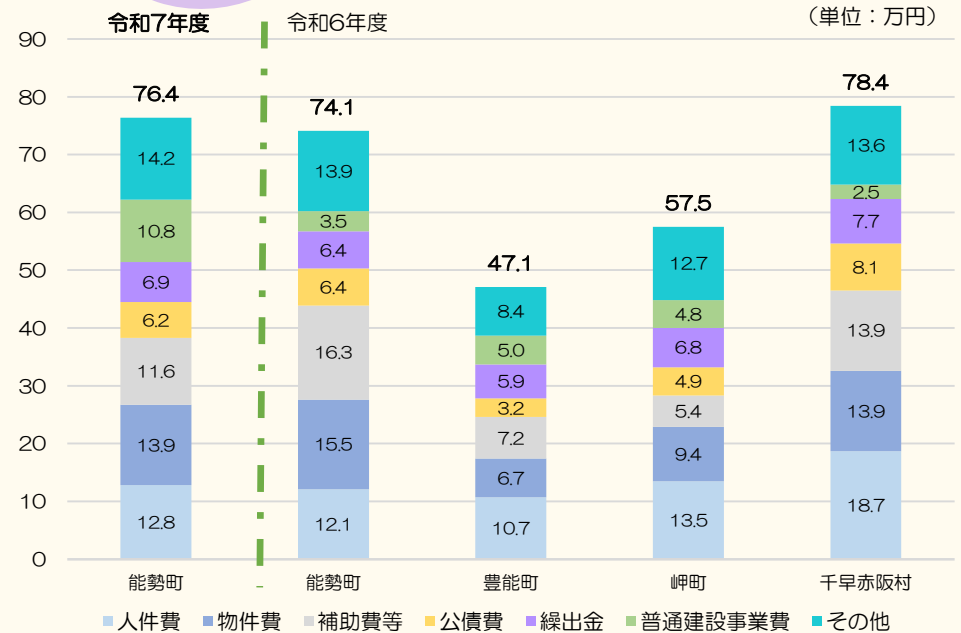
住民一人当たりに直してみると

住民1人当たりの歳入



令和7年度の比較は資料公表時期により令和9年4月以降対応予定

住民1人当たりの歳出



令和7年度の比較は資料公表時期により令和9年4月以降対応予定

町の規模が違くと、
そのまま比べてもわかんないっすよね。
だから、規模が似ている団体と
1人当たりの金額で比べてみたっす！



1人当たりで比べると
能勢町の歳出はちょっと多くないっすか？
令和6年度は施設の除却、令和7年度は施設の整備に
お金がかかっていたみたいっす

貯金はどれくらいあるの？①

能勢町にはこんな「貯金」があります

※R7年度末残高

財政調整基金



20億8,462万円

財源の変動に備え
安定した財政運営を
するための基金

環境基金



104万円

環境保全の活動など
に充てるための基金

地域農業 活性化基金



210万円

農業振興などに
充てるための基金

地域福祉基金



5,385万円

地域福祉の振興に
充てるための基金

基金＝町の貯金

とかんがえて
間違いナイス

町営住宅 管理基金



1,078万円

町営住宅の
維持管理に充てる
ための基金

退職手当基金



2億6,543万円

退職手当に
充てるための基金

災害対策基金



3,856万円

災害時の緊急対応に
充てるための基金

芸術文化 振興基金



2,239万円

伝統芸能など能勢の
文化の創造に充てる
ための基金

森林環境 譲与税基金



4,692万円

森林環境の整備に
充てるための基金

西能勢 振興基金



1億8,382万円

西能勢財産区が存し
た地域の住民福祉の
増進などに充てる
ための基金

歌垣振興基金



1億1,614万円

歌垣財産区が存し
た地域の住民福祉の
増進などに充てる
ための基金

過疎地域持続的 発展基金



4,051万円

安定的に過疎対策
事業を実施する
ための基金

町には全部で**12の基金**が
あり、大きく分けると次の
2種類になります。

①財政調整基金

景気悪化による歳入の減
少や災害による歳出の増
加などに備える貯金のこ
と

②特定目的基金

特定の目的のために積み
立てたお金を、その使い
道に限って取り崩すこと
ができる貯金のこと

なんで
貯金しないとい
いナイスっか？

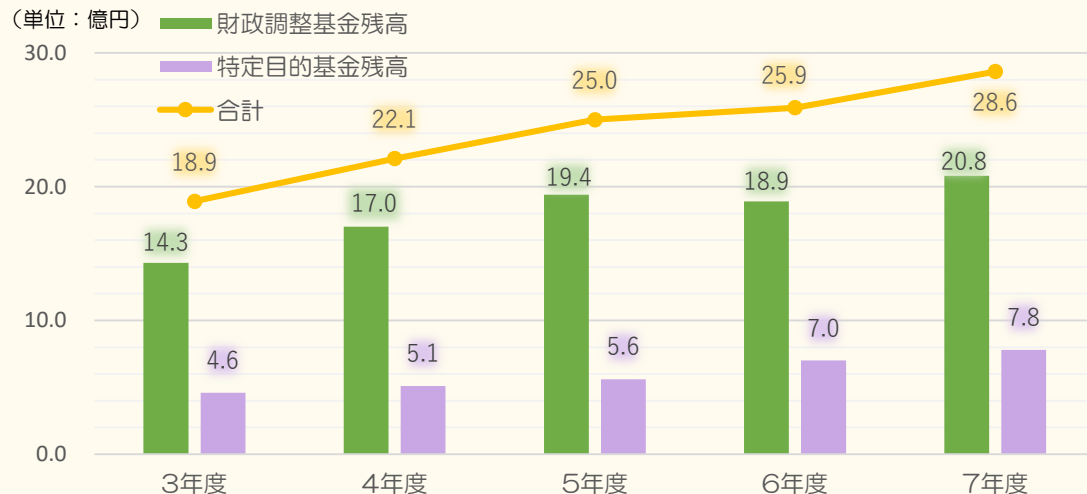
収入が減ったり、災害などで急な支出が必要になることがあるから！

町税などの収入は、経済状況により変化するため、常に一定ではありません。また、地震や台風などの災害や、急激な経済情勢の悪化など、不測の事態が生じる年もあります。

そのような時であっても、自治体は安定した住民サービスを継続して提供していく必要があります。その財源として活用できるよう、貯金をしています。

貯金はどれくらいあるの？②

基金残高の推移

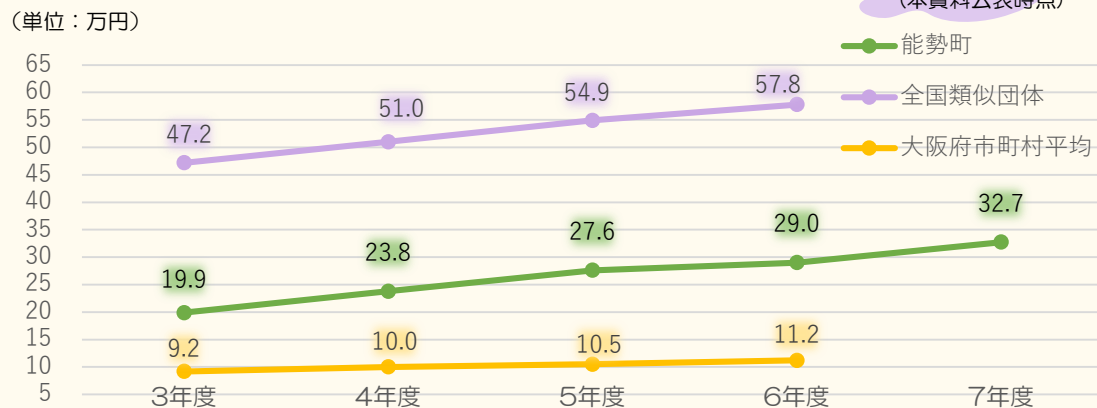


令和7年度末の**財政調整基金の残高**は、前年度末に比べて、**約2億円増加**しました。これは、年度の収支で残ったお金などを基金に積立てたためです。

特定目的基金についても、昨年度から増となっています。

本町は**1人当たり基金残高**が全国類似団体と比較して低い傾向にありますが、これは特定目的基金の残高が少ないことが影響しています。しかし、住民1人当たりの基金残高は、前年度末に比べて**約3万7千円増加**しています。

1人当たり基金残高の推移



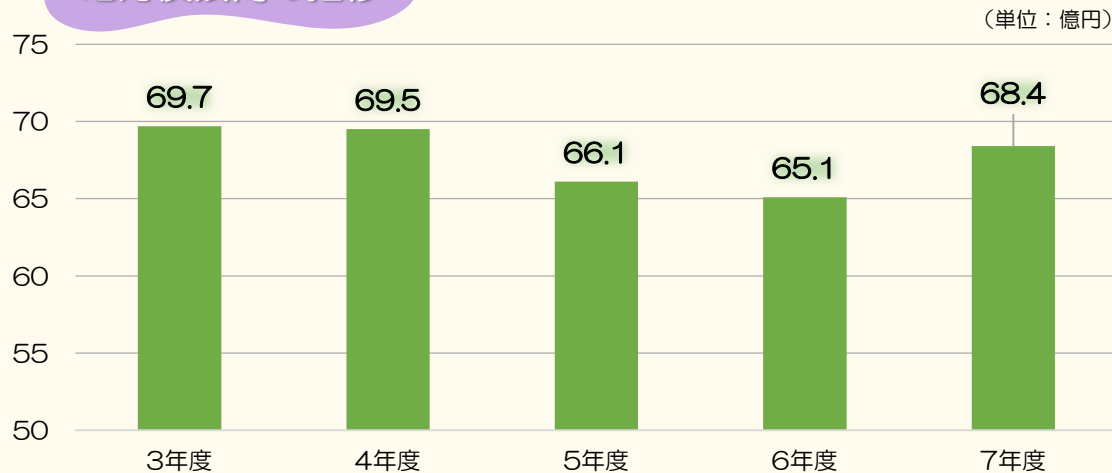
住民1人当たりの基金
前年度より増えてる！
少しずつ改善してるんじゃないですか？

用語説明

- **全国類似団体**
人口や産業構造が似ている自治体のグループです。能勢町の財政状況を、同じような自治体と比べるために使っています。

借金はどれくらいあるの？

地方債残高の推移



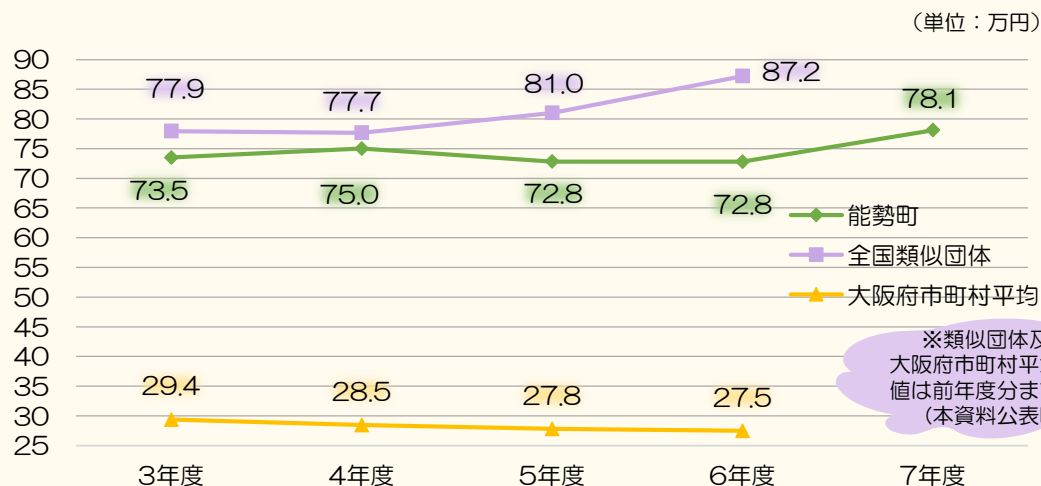
町債（地方債）は、建物や道路など、何年も使うような大きな施設の整備事業や、災害など緊急に対応しないといけないときに、町独自に借りるお金のことです。

地方債残高は令和3年度以降は少しずつ減少していましたが、令和7年度は町施設の整備費が増えたことに伴い、**約3億3千万円増加**しています。

1人当たり地方債残高については、令和6年度では全国類似団体と比較して約14万4千円下回る結果となりましたが、令和7年度は前年度に比べて**約5万3千円増加**しています。

町人口が減少しているため、一人当たりの負担額は多くなる傾向にあります。

1人当たり地方債残高の推移



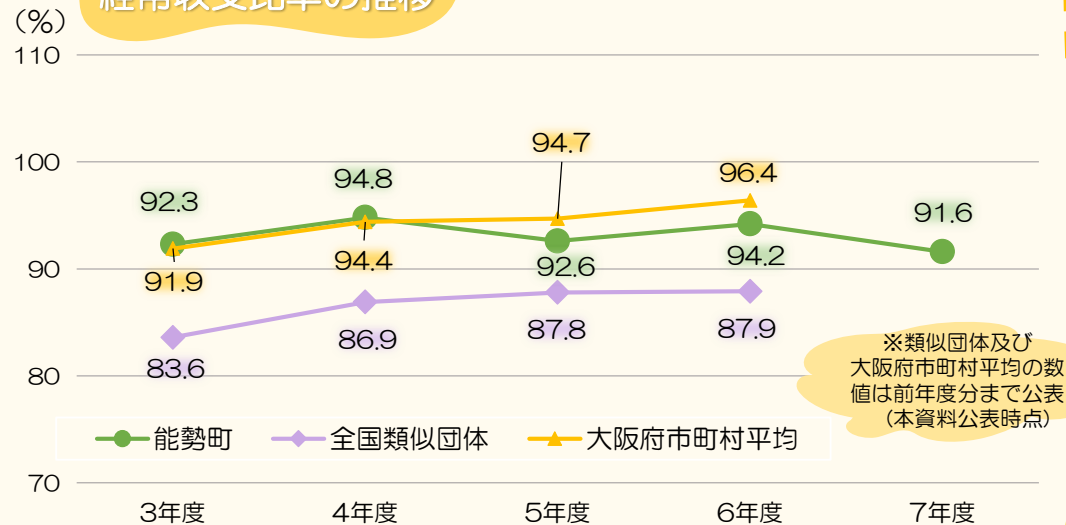
借金って、できればしたくないっすよね
でも、町には借金する理由があるっす！



道路や学校などの公共施設は、長い間使われます。そこで、建設費を何年かに分けて支払うことで、将来使う人にも負担してもらい、**世代間の負担を公平**にしています。また、支払いを分散することで、建設した年に他の事業に使えるお金が減りすぎないようにしています。

自由に使えるお金の割合はどれくらい？

経常収支比率の推移



能勢町は全国類似団体と比べて数値が少し高いみたいっす。

この数値が低いほど財政に余裕があるってことじゃないっすか？

令和7年度の経常収支比率は**91.6%**と前年度から**2.6%改善**し、前年度に引き続き95%を下回りました。

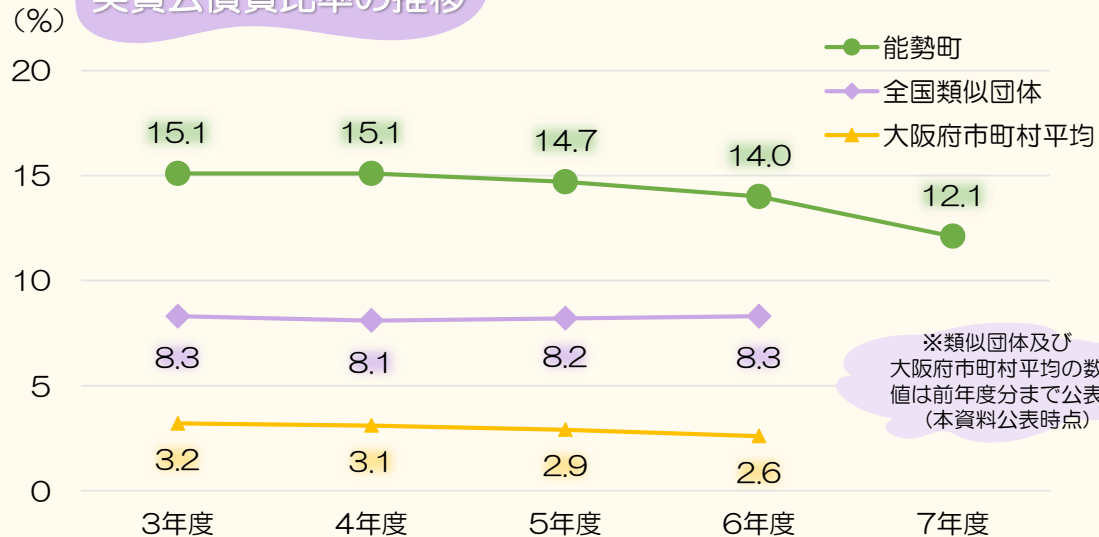
今後、公債費の増加が見込まれますが、既存事業の再構築に取り組むことにより財源の有効配分に努めていきます。

全国類似団体と比べて、高い傾向にあるのは、ごみ処理施設（豊能町・兵庫県川西市・猪名川町と共同で運営している国崎クリーンセンター）や常備消防（豊中市と共同で実施）のような、広域化事業による負担金が多いことや下水道事業会計への繰出しが多いことが主な要因です。

毎年入ってくるお金（経常的な収入）を毎年決まって出ていくお金（経常的な経費）にどれくらい使っているかを見る数字みたいっす。高いほど、自由に使えるお金が少ないっすね。

借金は返済していけるの？

実質公債費比率の推移



能勢町は全国類似団体より
少し高めみたいっす。
これからどうしていくのか
気になるところじゃナイっすか？



令和7年度の実質公債費比率は**12.1%**で、前年度から**1.9%改善**しています。

この数値が18%を超えると危険信号とみなされ、町債の発行について制限を受けることになってしまいます。

本町は、18%の危険基準は超えていないものの、全国類似団体と比較すると数値が高い状態となっています。

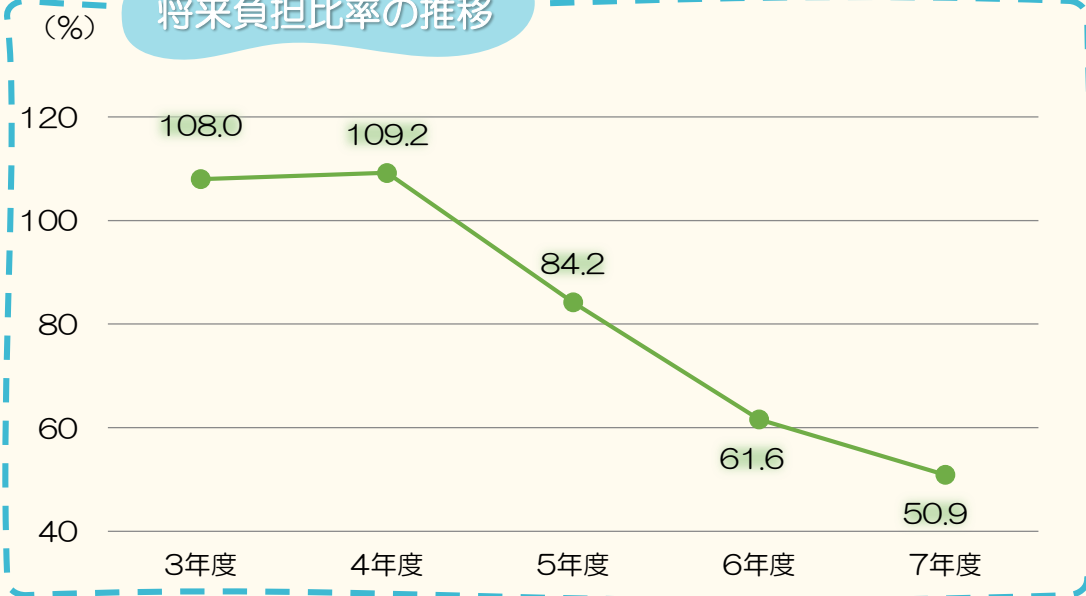
そのため、今後、新規事業を行うときは、有利な起債の活用を図るとともに、発行額を抑制しつつ、企業誘致を進めるなど、税収確保を図っていき、地方債に過度に依存しない財政運営に努める必要があります。

借金の返済金（公債費）が、その年度の収入に占める割合を表していて、返済が町の財政にどれくらい負担になっているかを見る数字っす（数値は3ヶ年平均）。高くなりすぎるのは、あまり良くナイっすね。



将来の負担になる借金の割合は？

将来負担比率の推移



※全国類似団体平均及び大阪府市町村平均については、比率の算出がされていないことから能勢町のみを記載しています。

これから負担しなければならないお金（町債など）が
今の収入に対してどれくらいあるのかを表す数字で
将来、財政にどれくらい負担がかかるのを見ることができる。
市町村では**350%を超えると注意が必要**。

見るべきは 今のお財布だけじゃナイっす。
これから負担するお金が多いと
将来の財政も楽じゃナイっす。



将来負担比率について、令和7年度は**50.9%**で、**前年度から10.7%改善**しました。

しかし、来年度以降も現在取り組んでいる旧庁舎周辺整備事業などで町債を発行することを考慮すると、現状の比率が今後、数年で大きく改善することは見込めません。

本町は現在、比較的高い水準にあるため、将来負担を見据えて、建設事業を計画的に実施することによって、財政の健全化に努めていく必要があります。

これからどうなっていくの？

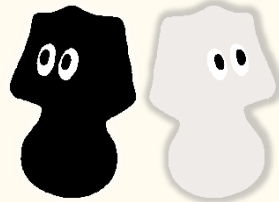
令和17年度までの収支見込

自主財源の大部分を占める
町税、これから減っていく
みたいですね…



(単位: 百万円)																									
区分		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度	
		決算額	増減率	決算額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率
町税		1,023	△ 4.5	1,050	2.6	1,028	△ 2.1	1,025	△ 0.3	1,018	△ 0.7	1,011	△ 0.7	998	△ 1.3	992	△ 0.6	984	△ 0.8	971	△ 1.3	964	△ 0.7	957	△ 0.7
地方交付税		2,680	2.8	2,863	6.8	2,830	△ 1.2	2,829	0.0	2,906	2.7	2,941	1.2	2,960	0.6	2,923	△ 1.3	2,919	△ 0.1	2,934	0.5	2,927	△ 0.2	2,906	△ 0.7
普通交付税		2,400	2.3	2,602	8.4	2,550	△ 2.0	2,569	0.7	2,644	2.9	2,679	1.3	2,701	0.8	2,666	△ 1.3	2,665	0.0	2,683	0.7	2,677	△ 0.2	2,656	△ 0.8
特別交付税		280	7.3	261	△ 6.8	280	7.3	260	△ 7.1	262	0.8	262	0.0	259	△ 1.1	257	△ 0.8	254	△ 1.2	251	△ 1.2	250	△ 0.4	250	0.0
繰入金		464	421.3	148	△ 68.1	273	84.5	291	6.6	322	10.7	259	△ 19.6	266	2.7	294	10.5	485	65.0	344	△ 29.1	240	△ 30.2	290	20.8
その他		2,699	31.1	2,846	5.4	3,017	6.0	2,548	△ 15.5	3,402	33.5	2,240	△ 34.2	2,524	12.7	2,491	△ 1.3	2,034	△ 18.3	1,890	△ 7.1	1,910	1.1	1,897	△ 0.7
歳入合計		6,866	17.9	6,907	0.6	7,148	3.5	6,693	△ 6.4	7,648	14.3	6,451	△ 15.7	6,748	4.6	6,700	△ 0.7	6,422	△ 4.1	6,139	△ 4.4	6,041	△ 1.6	6,050	0.1
歳出																									
区分		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		14年度		15年度		16年度		17年度	
		決算額	増減率	決算額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率	決見額	増減率
人件費		1,086	10.6	1,124	3.5	1,261	12.2	1,231	△ 2.4	1,288	4.6	1,223	△ 5.0	1,235	1.0	1,259	1.9	1,376	9.3	1,339	△ 2.7	1,244	△ 7.1	1,323	6.4
うち退職手当		77	450.0	0	△ 100.0	36	皆減	3	皆増	104	3,366.7	0	皆減	3	皆増	0	皆減	126	皆増	86	△ 31.7	0	皆減	74	皆増
物件費		1,390	41.8	1,213	△ 12.7	1,229	1.3	1,128	△ 8.2	1,131	0.3	1,134	0.3	1,137	0.3	1,140	0.3	1,143	0.3	1,146	0.3	1,149	0.3	1,152	0.3
補助費等		1,455	51.4	1,015	△ 30.2	1,238	22.0	957	△ 22.7	960	0.3	956	△ 0.4	928	△ 2.9	913	△ 1.6	889	△ 2.6	869	△ 2.2	843	△ 3.0	829	△ 1.7
公債費		576	△ 4.0	545	△ 5.4	539	△ 1.1	585	8.5	707	20.9	781	10.5	823	5.4	842	2.3	868	3.1	894	3.0	894	0.0	878	△ 1.8
繰出金		576	△ 1.7	605	5.0	624	3.1	626	0.3	637	1.8	640	0.5	641	0.2	644	0.5	643	△ 0.2	645	0.3	646	0.2	651	0.8
普通建設事業費		307	△ 7.5	940	206.2	1,153	22.7	1,131	△ 1.9	1,890	67.1	684	△ 63.8	950	38.9	877	△ 7.7	499	△ 43.1	239	△ 52.1	250	4.6	255	2.0
補助事業費		30	△ 71.2	334	1,013.3	12	△ 96.4	130	983.3	54	△ 58.5	157	190.7	556	254.1	691	24.3	157	△ 77.3	44	△ 72.0	54	22.7	55	1.9
単独事業費		220	16.4	552	150.9	1,106	100.4	954	△ 13.7	1,748	83.2	501	△ 71.3	375	△ 25.1	177	△ 52.8	326	84.2	186	△ 42.9	186	0.0	192	3.2
その他		1,243	2.7	1,249	0.5	946	△ 24.3	887	△ 6.2	887	0.0	884	△ 0.3	885	0.1	879	△ 0.7	857	△ 2.5	859	0.2	861	0.2	811	△ 5.8
歳出合計		6,633	17.4	6,691	0.9	6,990	4.5	6,545	△ 6.4	7,500	14.6	6,302	△ 16.0	6,599	4.7	6,554	△ 0.7	6,275	△ 4.3	5,991	△ 4.5	5,887	△ 1.7	5,899	0.2
歳入歳出差引(累計赤字)		233	33.9	216	△ 7.3	158	△ 26.9	148	△ 6.3	148	0.0	149	0.7	149	0.0	146	△ 2.0	147	0.7	148	0.7	154	4.1	151	△ 1.9
単年度(繰越金除)収支		50	/	△ 3	/	△ 44	/	△ 10	/	0	/	1	/	0	/	△ 3	/	1	/	1	/	6	/	△ 3	/
財調現在高(年度末)		1,887	△ 2.9	2,085	10.5	2,052	△ 1.6	1,866	△ 9.1	1,750	△ 6.2	1,593	△ 9.0	1,426	△ 10.5	1,239	△ 13.1	857	△ 30.8	615	△ 28.2	476	△ 22.6	288	△ 39.5
特目現在高(年度末)		561	3.1	625	11.4	571	△ 8.6	563	△ 1.4	456	△ 19.0	456	0.0	467	2.4	483	3.4	374	△ 22.6	336	△ 10.2	352	4.8	347	△ 1.4

これからは、義務的経費を抑えることが
大事っす。町債も、将来世代の負担が
大きくなりすぎないように計画的に！



財政調整基金という貯金も、令和17年度
までは残る見込み。これなら、しばらくは
やりくりできそうじゃナイっすか？

③能勢町の課題ってなに？



能勢町の課題ってなに？①

課題① 人口減少

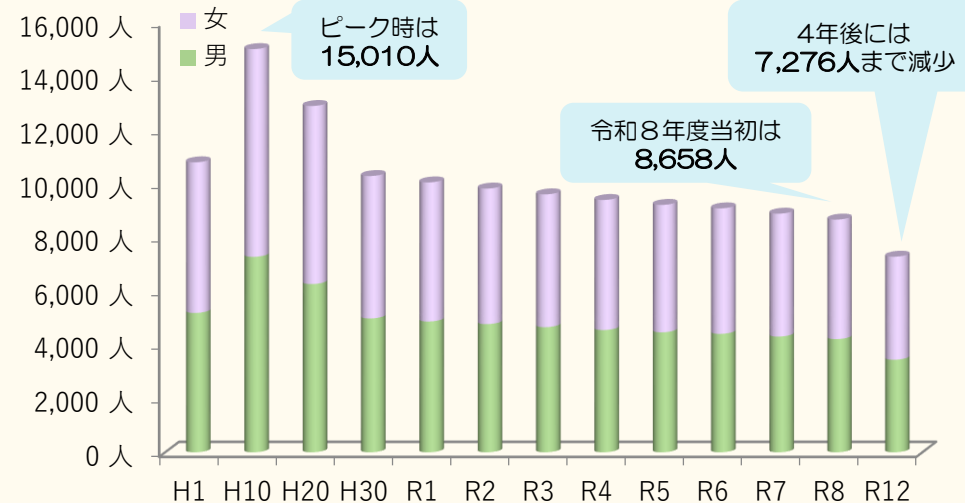
人口減少は、日本全体で起こっている課題です。能勢町でも、平成10年度をピークにそれ以降は減り続け、令和7年度末までで6,352人(42.3%)減少しました。

令和元年には人口が1万人を下回り、出生数も少ないことから、今後も人口は減少すると見込まれています。

人口が減ると、町税の収入も減っていきます。能勢町では、平成17年からの約20年間で町税の収入が22.6%減少しました。使えるお金が限られる中でも、必要なサービスを続けていくために、事業を見直し、本当に必要なものにお金を使っていくことが大切です。

また人口が多かった時期に整備した公共施設についても、これからの人口や利用状況に合わせて、あり方を見直していく必要があります。

能勢町の人口推移



※ R8までは4月1日現在の人口、R12は能勢町地域の未来予測より

今後はどうして
いけないと
いけナイっすか？

このまま人口減少が続き、過疎化が進まないよう、行政として対策を講じていきます。

能勢町の自然の豊かさや文化などの魅力発信や、能勢町過疎地域持続的発展計画に基づく過疎対策事業を効果的に活用することによって、住民が将来にわたり安全に安心して暮らすことができる地域社会を実現するとともに、地域活性化につながるまちづくりを推進していきます。

また、人口減少社会に合わせた行政のスリム化や、老朽化が進んでいる公共施設の長寿命化や、あまり使われていない公共施設の用途廃止や除却などに取り組み、歳出を抑えることで、持続可能な行財政運営を目指していきます。

能勢町の課題ってなに？②

課題② 交通対策

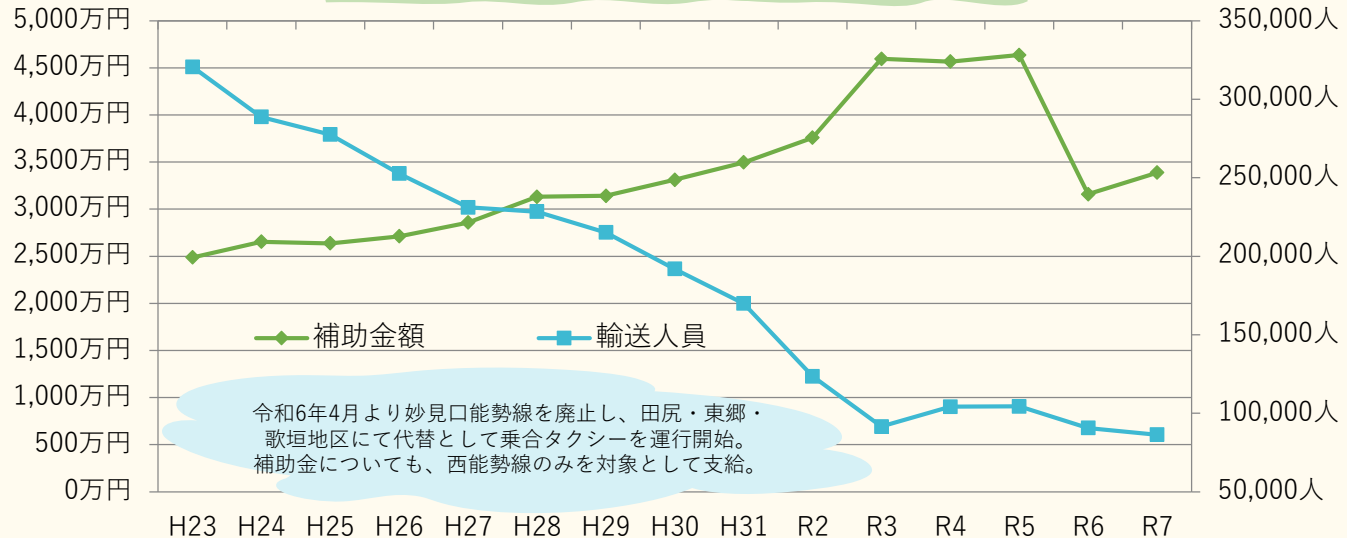
能勢町には電車が通っていないため、バスは住民のみなさんにとって大切な移動手段です。

一方で、バスの利用者が減っていることに加え、乗務員不足も続いており、今のバス路線を維持することが難しくなっています。

そのため、路線バスを維持するために町が負担するお金は、年々増えています。

高齢化が進む中、通院や買い物などの移動手段や、高校生などの通学手段を確保することも、ますます重要になっています。

民間バスの輸送人員とバス会社への補助金額の推移



※R5西能勢線については補助対象期間変更のため、12か月相当額を試算
※R6より路線廃止に伴い妙見口能勢線への補助金廃止、輸送人員も西能勢線のみを計上

今後はどうして
いかないと
いけナイっすか？

公共交通を維持するために、積極的な利用をお願いします。

これまでの交通体系を維持し続けていくことは、増加する補助金を考えると財政的には困難と言えます。このような状況を踏まえて、令和4年7月から能勢町乗合タクシーの実証運行を開始し、令和6年4月から本格運行に移行しました。また、路線バス（妙見口能勢線）が廃止されたことから、妙見口のせ号の運行を開始しています。

乗合タクシー及び妙見口のせ号の運行を継続していくためには、多くの方のご利用が必要不可欠です。

④持続可能な行政運営を目指して！



持続可能なまちづくりを実現しよう！

なぜ取組が必要？

今も、これからも、安心して暮らせる能勢町であるために。

人口が減少し、高齢化が進むなか、これからも安心して暮らせるまちをつくるためには、限られた財源を有効に使っていくことが大切です。

公共施設や事業の見直しなどに取り組み、維持管理に係る費用を抑えながら、必要な行政サービスを続けられるよう、進めています。

将来世代に負担を残さない、持続可能な行財政運営をめざします。



今あるものを見直して
必要なところにしっかりお金を使う。
これ、大事じゃナイっすか？

どのような取組をしてるの？

持続可能なまちづくりに向けて こんな取組をしています。

- ムダな経費を減らし、仕事を効率化
- 事業を見直し、必要なものを残す
- 公共施設を見直し、より効率的に整備
(旧庁舎周辺整備事業など)
- 健康づくりを支援し、医療・介護などの負担を抑える
(健康長寿づくり支援事業・のせ健サポート)
- 地域で支え合い、安心して暮らせるまちづくり

ずっと安心して暮らせるまちをつくるって
簡単じゃナイっすね。
でも、これからの能勢町には
大切なことなんっす！



みんなで前進、「できること」はなに？



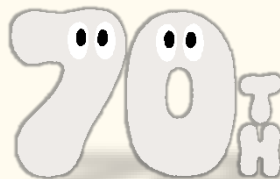
ごみのルールを
まもる

健康づくりに
取り組む



いきいき百歳体操や
のせけんサポートに
参加しナイっす？

みなさんの協力が 持続可能な
まちづくりにつながるっす！



公共交通を
利用する



みんなで使えば
地域の足を守れるっす！



地域の困りごとを
みんなで考える

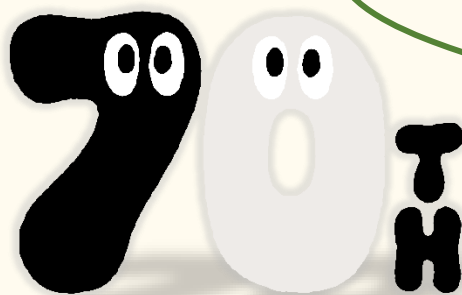
むすびに ～住民のみなさまへ～

能勢町の財政は、決して余裕のある状況ではありません。
人口減少や高齢化によって町税が減る一方、
公共施設の老朽化など、これからお金が必要になることも増えています。

だからこそ、今ある事業や公共施設を見直し、
限られたお金を必要なところに、しっかり使うことが大切です。
能勢町は、過疎地域として国の支援なども上手に活用しながら、
地域の維持や活性化、安全・安心な暮らしを守る取組を進めています。

**これからも、住民のみなさまと一緒に、
住み続けたいと思える能勢町をつくっていきます。**

能勢町のこれからのために、
引き続きみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



能勢町の未来、もっと良くなっていきたいじゃないっすか。
これからも一緒に考えていきましょう！